

第3回 下水道管路の包括的民間委託検討部会	
日 時	令和2年8月12日(水) 13:30~15:00
開催場所	横浜市役所18階 なみき14・15
出席者	滝沢部会長、川北委員、高橋委員、原委員、鴨志田委員
欠席者	
開催形態	非公開
議 題	1 第2回検討部会でのご意見について 2 評価基準(項目・配点・評価点)について 3 その他
議 事	<p><b>開 会</b></p> <p><b>1 下水道管路部長挨拶</b></p> <p>○横浜市 前回まではどのような業務を束ねて出すかという部分の考え方を提示し、ご意見を頂いた。今回はどのような業者を選ぶのか、横浜市の考え方に対するご意見を頂いて、今回と次回(第4回)でどのような考え方で業者を選ぶか、どのような採点を実施するかという部分について議論し、ご意見を頂きたい。本日は限られた時間の中で、積極的に多方面のご意見を頂きたい。</p> <p><b>2 資料確認</b></p> <p>○事務局 資料1:第2回検討部会議事録。資料2:第2回検討部会でのご意見について。資料3:評価基準について。別紙1:提案審査の評価項目及び評価の着眼点。別紙2:提案審査の評価基準。</p> <p><b>3 会議成立の確認</b></p> <p>○事務局 5名中5名の全委員が出席のため、本日の検討部会は成立。</p> <p><b>議 事</b></p> <p><b>1 第2回検討部会でのご意見について</b></p> <p>○事務局 資料2「第2回検討部会でのご意見について」に基づき説明。</p>

2 評価基準について

○事務局 資料3「評価基準について」(p18まで)に基づき説明。

○滝沢部会長 どのような業務をどのくらい再委託するのか、どのようなイメージを持っているのか。

○事務局 再委託の比率について、要件化することは考えていない。今年度の詳細調査については、年間約150kmの調査を実施するため、個別に14件の委託を出している。代表構成員と再委託先で合わせて業務を履行していただけたらと考えている。

また、交通誘導員等、付随する業務を再委託に出すことが考えられる。

○滝沢部会長 今年度の詳細調査業務の14件は市内の業者がフル稼働しているのか。

○事務局 全て市内業者ではないがほぼ市内業者で調査を実施している。フル稼働というほど市内の調査会社全体で調査業務を実施しているわけではない。

○滝沢部会長 再委託を締結して作業を実施している実績はあるか。

○事務局 再委託して調査を実施しているケースもある。

○原委員 前回部会での質問で確認事項となっていたが、WTOの対象となるか。

○事務局 WTOの対象外である。

○原委員 スライドp7で表記されている設計業務は今回の包括委託ではどの業務で担当するのか。

○事務局 スライドで説明したものはイメージをお示ししており、本委託内で通常委託契約を結んでいるような設計は実施しない。応急的な対応方法の軽微な検討を想定している。詳細調査業務や修繕業務を担当する構成員が検討しなければいけないというものではない。今回の包括委託では統括マネジメントが中心となり担当業務を超えて情報交換を行い、客観的な視野を入れた異常箇所への対応方法を検討していくことも期待している。

○鴨志田委員 スライドのp6で示している前提に沿って資格要件や評価項目の議論ができているか、議論を進めていくうちに前提からそれてしまうことがあるので前提と照らし合わせながら議論を進めていただきたい。

○事務局 φ800mm以上の下水道管を年間約150kmずつ確実に調査を行うことが大前提として考えている。本委託の業務を進めていく中で約1500kmある老朽管の維持管理に携わっていただくパートナーを見つけていきたい。

○滝沢部会長 スライド p6 の基礎資料はあるのか。

○事務局 中期経営計画を基に検討し、お示ししている。

○事務局 資料3「評価基準について」(p19～)、別紙1「提案審査の評価項目及び評価の着眼点」、別紙2「提案審査の評価基準」に基づき説明。

○鴨志田委員 なぜ評価項目から価格を除外したのか。

○事務局 今回の委託では契約額としてのコストダウンより行政および民間の業務の効率化、迅速性を重視しており、金額による評価は考えていない。ただし、公募時に横浜市で積算をして参考価格を算出するため、契約額が市で考えている金額と大きく離れることはないと考えている。

○鴨志田委員 本部会の6回目でヒアリングによる評価が入っているがどのように進めるのか。

○事務局 5回目の検討部会で公募資料を書面で評価し、大枠を整理する。6回目は書面での評価のバックグラウンドをプレゼン、ヒアリングで確認し、評価を確定させるイメージである。

○高橋委員 別紙2の内容で保有機材の確認について、すべて構成員で保有している場合は評価が高くなると認識しているが、古い機材を所有しているより、性能の良いものをレンタルできる体制の方が良いのではないか。

○事務局 貴重なご意見として検討させていただく。

○高橋委員 ⑤-2について業務配分を金額ベースでどのように確認するのか。

○事務局 ⑤-2はJVの受託額の配分を提出してもらい、割合について評価することを考えている。

○川北委員 新技術とはこれまで横浜市で実施したことが無い手法のことを指しているのか。

○事務局 その通り。例えば、調査手法では目視やカメラによる調査を用いているが、ドローンでの調査などが提案されたら新技術として評価すると考えている。その他、現場での作業だけでなく、調査結果のデータ整理の方法なども含めて評価していただきたいと考えている。

○**原委員** ③業務内容への提案で、視点が A『品質の確保』ということがだが、③-2の調整能力や業務遂行能力については、①実施能力と同じ意味合いなのか。

また、③業務内容への提案で品質の高い業務を促しているが別紙1の B『安定した履行体制』も含まれるのではないかと。項目を整理する必要がある。

⑤構成員の関与度合いについても、B『安定した履行体制』に寄せるのかあるいはA『品質の確保』に寄せるのか、両方の要素があると思うので、視点を分けて評価の対象とした方がすっきり整理できるかと思う。

○**事務局** 貴重なご意見として検討させていただく。

○**鴨志田委員** ①の評価項目は実施能力と言いつつ実績を評価する着眼点のみであるため、受託実績とすべきではないか。③の業務内容への提案の着眼点は能力や体制に関するものとみられる。

○**事務局** 貴重なご意見として検討させていただく。

○**滝沢部会長** 過去の受託実績が多い方がいいのかもしれないが、それを点数化すると沢山の受託実績のある企業が有利になってくるのではないかと。

○**事務局** 受託の実績について、現状の事務局案では受託数にウェイトを置いているが、量と質をどのように評価すべきか、ご意見があればご教授いただきたい。

○**川北委員** 統括マネジメント業務の評価項目にこれまでの JV 経験を評価してはどうか。

○**事務局** 貴重なご意見として検討させていただく。

○**原委員** 評価の段階で再委託先を提示する必要があるのか。また、業務のうちどの部分を再委託するかを提示する必要があるのか。

○**事務局** 再委託先に関する項目を評価対象にはしていない。業務のうちどの部分を再委託するかについて金額ベースで出してもらおうことを考えている。⑤-2で構成員の関与度合いとして評価する。

○**原委員** 今の評価の着眼点では実績のある業者を集めて JV を組むことが考えられる。それが今回の実績にもなるため、構成員内で業務を行い再委託先（本委託を契約できなかった企業）に仕事が回らないことが想定される。

○**事務局** 場合によっては、ご指摘のような作戦を取るグループも出てくるのが懸念される。そういった意味でも件数だけで良いということは改めて検討が必要である。貴重なご意見として、検討させていただく。

	<p>○鴨志田委員 再委託先にどの程度の業務が割り振られるか提示させるのか。</p> <p>○事務局 検討している配分を提出してもらおう。</p> <p>○鴨志田委員 累計受託の総額や品質の加点項目、大きな事故がないか、納期の遅れがないかといった項目を含めても良いのではないかと。</p> <p>○事務局 過去の実績について、どのように評価が可能か確認し、評価内容を検討する。</p> <p>○滝沢部会長 実施能力を評価するには構成のバランスも見る必要があるのではないかと。H30 年度から経験してきた異常箇所に対応することができる構成。1 者ずつバランスが取れているか。</p> <p>①実施能力と③業務内容への提案の着眼点が重複している。調整能力をどのように評価するか。</p> <p>⑤-1 機材はレンタルでも良いのではないかと。</p> <p>⑤-2 委託業務をすべて構成員で実施する体制が本当に良いのか。業務のコアな部分は構成員で実施するが、その他は再委託に任せても良いのではないかと。</p> <p>③-2 体制と⑤-3 連携でやや重複している。</p> <p>以上について検討してほしい。</p> <p>○高橋委員 別紙 2 の E 評価になるものについては対外的に説明できるしっかりした根拠に基づいて設定すべき。</p> <p>○原委員 ⑥-1 より多くの市内企業と、⑥-2 の市内企業が受け持つ割合というのは同じことが当てはまるので併せてご検討いただきたい。</p> <p><b>2 その他</b></p> <p>○事務局 次回の検討部会は、令和 2 年 9 月 4 日 10 : 00 ~ 11 : 30 を予定している。</p> <p><b>閉 会</b> <span style="float: right;"><b>〔議事終了〕</b></span></p>
資 料	<p>資料 1 第 2 回検討部会 議事録</p> <p>資料 2 第 2 回検討部会でのご意見について</p> <p>資料 3 評価基準について</p> <p>別紙 1 提案審査の評価項目及び評価の着眼点</p> <p>別紙 2 提案審査の評価基準</p>